

## 第 1 回 阿南市在宅医療介護サービス事業所部会代表者会

- 開催日時：令和 8 年 5 月 18 日 14:00～15:30
- 参加者：地域共生推進課 課長・主査・主事、介護保険課 課長補佐、各部会代表者（グループホーム、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設、（看護）小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援事業所、養護・軽費老人ホーム、通所介護・通所リハビリ・訪問リハビリテーション、訪問介護、阿南高齢者お世話センター）、各部会副代表者（グループホーム、（看護）小規模多機能型居宅介護 2 名）、在宅医療介護連携支援センター センター長、看護師、介護労働安定センター
- 議事録作成者：センター長 湯浅祐司

### 【要約】

本会議では、令和 8 年度の阿南市在宅医療・介護サービス事業所部会代表者会の体制確認と、今後の事業計画、各部会の運営方針について協議が行われました。特に、部会報告書の作成負担軽減のため、センターによる作成支援が決定しました。また、医療と介護の連携における課題や、総合事業研修の見直し、相談シートの活用促進など多岐にわたる意見が交わされ、今後の具体的な改善策が話し合われました。

### 【議題 1：令和 8 年度体制確認と自己紹介】

- 令和 8 年度の組織体制について、各部会の代表者および副代表者、ならびに地域共生推進課、介護保険課、在宅医療介護連携支援センターの体制が確認されました。
- 在宅医療・介護連携支援センターは、センター長 湯浅と看護師 伊勢の 2 名体制で運営されることが紹介されました。

### 【議題 2：介護労働安定センターからの情報提供】

- 介護労働安定センターから、介護労働者の雇用管理改善に関する支援事業について説明がありました。
  - **介護労働者雇用管理責任者研修**：7 月より総合コース（2 回）、専門コース（2 回）が開催され、受講料は無料。
  - **無料相談**：助成金、個人情報保護、情報漏洩、感染症予防、中間管理職の人材育成などに関する無料相談を受け付けています。
- **決定事項**：
  - 介護労働安定センターとの連携を積極的に活用し、各事業所の課題解決に役立てることとする。

### 【議題 3：令和 8 年度事業計画と組織体制について】

- **組織体制図の説明：**
  - 在宅医療・介護連携における組織体制（部会、代表者会、ワーキンググループ会議、連携推進会議）について説明があり、各会議の役割と情報フィードバック（在宅医療・介護連携支援センターのホームページに報告書を掲載）の方法が確認されました。
- **「4つの場面」について：**
  - 在宅医療・介護連携の目指すべき姿として「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時対応」「看取り」の4項目が挙げられ、各部会でこれらをテーマに協議を進めることが確認されました。
  - 各部会は、在宅医療・介護全体の目標に基づき、現状把握、課題分析、令和8年度のテーマ設定、具体的な取り組みを計画する。
- **令和7年度の主な成果：**
  - 救急搬送時の職員同乗の柔軟化（同乗不要、家族連絡後の職員帰宅可）が挙げられ、部会からの議論が具体的な成果につながった事例として共有されました。
- **懸案事項：**
  - 事業計画書の作成において、4つの場面全てを詳細に埋めることが部会の負担となっているため、改善の必要性が議論されました。
- **今後の対応：**
  - 事業計画の様式を見直し、各部会が特定のテーマに特化して議論を進められるよう改善を検討する。令和9年度のテーマ設定に向け、より実用的な様式をセンターで作成し、各代表者に確認後に適用する。

### 【議題 4：各部会の運営方針】

- **開催頻度：**各部会は最低年2回（上半期・下半期、3月は避ける）の開催を原則とする。
- **開催連絡・会場確保：**
  - 各部会代表者が主体となり、センターと連携しながら開催日時を調整し、地域共生推進課を通じて市役所の部屋を確保、または各事業所・施設での開催も可能とする。
- **報告書作成の負担軽減：**
  - **決定事項：**部会報告書の作成について、在宅医療・介護連携支援センターが会議の録音データと写真をもとに報告書を作成し、各代表者の確認を経て地域共生推進課へ報告、ホームページに掲載する方式を導入する。
- **部会コラボ開催：**
  - **決定事項：**異なる部会間での合同開催を推奨し、連携強化を促進する。

- **運営費について：**
  - 運営費は基本的に無償での協力を依頼するが、出席者の交通費や謝金など、次年度以降の負担軽減策について、貴重な意見として今後の協議対象とすることが示唆されました。
- **懸案事項：**
  - 一部の部会では参加事業所が少ない、または参加が難しいといった課題があるため、参加率向上のための対策が必要。

## 【議題 5：医療・介護連携における課題解決】

### 5-1 医療・介護の対等な関係構築

- **現状の課題：**
  - 医療機関と介護事業所間の連携において、介護側の意見が十分に反映されない場面がある。不必要なつき添い要求、電話対応における課題などが挙げられました。
- **今後の対応：**
  - ケアカフェなどを通じた医療機関とのコミュニケーション促進、および具体的な課題事例について個別に対策を協議していくこととします。

### 5-2 総合事業における研修の見直し

- **現状の課題：**
  - 総合事業における「6 時間の講義と 2 時間の実地研修」について、2 時間の実地研修が個人情報保護の観点から実施が困難であることや、その実効性への疑問が提示されました。また、研修の開催頻度が年 1 回であることについても意見が出ました。
- **懸案事項：**
  - 2 時間の実地研修の必要性について見直しが必要。
  - 研修の開催頻度を増やすべきか。
- **今後の対応：**
  - 実地研修の廃止の検討、および研修の開催頻度の増加について、介護保険課と協議を行う。
  - 働きながら初任者研修を受講できる、阿南市主催の研修開催についても検討を進める。

## 【議題 6：その他】

### 6-1 相談シートの活用促進

- **現状の課題：**
  - 在宅医療・介護連携支援センターへの相談は電話が多く、記録化が困難である。

- **決定事項：**

- 相談シートの様式を改善し、高齢者お世話センター、居宅介護支援事業所、施設・事業所が共通して使用できる統一フォーマットを作成し、活用を促進する。チェックボックス形式の導入など、記入しやすい様式を検討する。

## 6-2 代表者グループ LINE の開設

- **決定事項：**

- 各部会の代表者および副代表者を対象としたグループ LINE を開設し、情報共有および連絡手段として活用する。
- 阿南市（介護保険課、地域共生推進課）の職員は市の個人アカウントがないため、グループ LINE には参加しない。
- 各部会の代表者は、他の部会の部会にも参加可能とする。

## 6-3 医療連携システムの情報提供

- **現状：**

- 現在導入されている ICT システム（MCS：Medical Care Station）に加え、医療側からは別のシステム「バイタルリンク」も検討されていることが情報共有されました。

- **今後の対応：**

- 将来的な医療介護連携システムの方向性について、医療側の動向を注視し、情報共有を行っていく。
- 医師会へのアンケート結果（各医療機関のシステム導入状況）をホームページに掲載することを検討する。

### 【会議風景】

